



学校だよりNO19

令和3年8月27日

児童数 470人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

気づき 考え 行動する

「気づき 考え 行動する」第2学期の始業式にあたり、子どもたちに紹介した言葉です。この言葉は、写真にあるように児童昇降口に掲示してあるので、児童は毎朝、目にするようになります。(同じ掲示物が、かつて使用していた西昇降口にもあります。)この言葉を使って、指導していた教職員もいると思います。この掲示物は、薫っ子が「こうあってほしい」という先輩方の思いが詰まったものであると思います。



第1学期の始業式には、「当たり前なのが、当たり前になるようになってほしい」という思いを伝え、その結果「あいさつ 返事 くつそろえ」が、上手にできるようになってきつつある薫っ子。第2学期は、それを進化させ、「気づき 考え 行動する」という言葉を伝えました。

なぜ、この言葉を伝えたか？

実は、第1学期最後の職員会議で、児童の廊下歩行が反省として出されました。「2学期は、廊下の歩行について指導を強化したい。」という反省が、何人かの教職員から出されました。「急いでいて、つい走ってしまった。」という経験を持つ児童は、結構いると思います。その結果、友だちとぶつかった。または、ぶつかりそうになった。という経験を持つ児童もいるのではないのでしょうか？「廊下を走る」＝「行動する」の前に、「考えて」ほしいのです。「気づいて」ほしいのです。そのあとの結果がどうなるかということ。「走るな〜。」と大声で注意されてばかりいるより、自分で考えてどうすれば良いかを行動に移してほしいと思います。お互いに、そんな行動が増えてくれば嫌なことは少なくなってくると思います。廊下の歩行を例としてあげましたが、これは、生活していくうえでとても大切なことだと思います。

以下の場合、登校を控えるようお願いします

- ・ お子さんや同居家族等が発熱や呼吸器症状等の体調不良の場合
(解熱後24時間以上経過、呼吸器症状が改善傾向となるまでの間)
- ・ お子さんが濃厚接触者となった場合
(健康観察期間)
- ・ お子さんがPCR検査を受ける場合
(検査結果がわかるまでの間)
- ・ お子さんの同居家族等が濃厚接触者となった場合
(検査結果がわかるまでの間)
- ・ お子さんの同居家族等がPCR検査を受ける場合
(検査結果がわかるまでの間)

